



施策の展開

本市の文化芸術の未来に向けて、今後、次のような内容を取り組みます。

概要版

基本方針 1 ひろげる『市民が文化芸術と触れる機会をひろげる』

基本施策 1 文化芸術を身近で気軽に感じるための機会の充実

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術事業の効果的な情報集約・発信 ●市民が気軽に参加しやすい文化芸術事業の工夫
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設、高齢者や障がい者団体等に対する文化芸術活動に関する調査の実施 ●公共施設・社会福祉施設等でのアウトリーチ事業の実施 ●多様な視点での文化芸術事業の実施

基本施策 2 こどもたちが文化芸術を楽しむ機会の充実

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●こども向け文化芸術事業の実施 ●教育・保育機関におけるニーズ調査
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術家・文化芸術団体等がこどもたちに文化芸術活動を届ける仕組みづくり ●こどもたちと一緒に文化芸術事業を企画・運営する仕組みづくり

基本方針 2 ささえる『市民の主体的な文化芸術活動をささえる』

基本施策 1 文化芸術活動の担い手育成・支援

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●那珂川市文化協会や加盟団体の活動支援・情報発信 ●文化芸術を通して市民と地域を繋げるための人材育成 ●文化芸術のボランティア活動に関わる人の育成と活躍の場の確保
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術団体等の交流の場の設定

基本施策 2 文化芸術活動環境の充実

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設に関する情報の発信 ●市内の文化芸術団体等に関する情報の収集・発信
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設以外の場での文化芸術活動ができる場所の調査等 ●施設利用について相談できる場所の設置

基本方針 3 つなぐ『那珂川の文化芸術を多様なヒト・モノ・コトとつなぐ』

基本施策 1 地域の魅力的な文化の継承

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校における地域の文化芸術体験事業の実施 ●歴史を感じられる体験活動の実施 ●本市の文化芸術の魅力を発信するイベントの実施
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の文化芸術に関する情報収集・発信

基本施策 2 文化芸術と関連する分野との連携

取り組みの例	既存事業の継続、更新	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術以外の分野での文化芸術の活用
	新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ●庁内における連携強化 ●文化芸術と関連する中間支援団体等との意見交換の実施



令和6(2024)年3月
那珂川市教育委員会

「那珂川市文化芸術推進計画」ってなに？

全ての市民が生涯を通して文化芸術に触れる機会を創出し、享受できる環境の充実や、市民と一緒に文化芸術に触れる機会をつくっていくため、本市におけるこれからの文化芸術施策の役割を明確化し、本市の特性を活かした文化芸術施策の推進を目指し、「那珂川市文化芸術推進計画」を策定します。計画期間は令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの10年間です。



基本理念

那珂川で〇〇しよう！

～文化芸術は一人一人の“よりどころ”～

文化芸術と関わる人との対話を通じて、当たり前のことへの「新しい気づき」が生まれることもあります。文化芸術をきっかけに、多様な人が集まり、出会うことで「新しいつながり」ができることもあります。このように、文化芸術とは様々な可能性を持っています。

那珂川で文化芸術を、創作する・鑑賞する・発表する・感想を共有する。文化芸術で、出会う・発見する・活動を後押しする・考える・受け継ぐ。

文化芸術の可能性は様々です。本市で展開される文化芸術が、市民一人一人にとってかけがえのない「よりどころ」となり、誰もが自分らしくいられる心豊かな社会が形成されるよう、本計画の基本理念を上記のように定め、必要な施策を推進していきます。

基本方針 1

ひろげる 『市民が文化芸術と触れる機会をひろげる』

全ての市民に文化芸術と触れる機会を提供するため、年齢、障がいの有無、経済的な状況や居住する地域等に関係なく、身近な場所で気軽に文化芸術を体験・鑑賞できる機会を広げていきます。特にこどもたちには、その置かれている個々の環境に関係なく、多様な文化芸術に触れることができる機会を広げていきます。

基本方針 2

ささえる 『市民の主体的な文化芸術活動をささえる』

文化芸術活動の継続や充実のために、市内で文化芸術活動をする人や今後市内で文化芸術活動をしたい人への支援、文化芸術活動を支援する人材の育成等を行います。また、市民の主体的な文化芸術活動を支えていくため、文化芸術活動が行いやすい環境を整えていきます。

基本方針 3

つなぐ 『那珂川の文化芸術を多様なヒト・モノ・コトとつなぐ』

本市の文化財や民俗芸能等古くからある文化芸術のほか、新たに根付いた文化等、本市ならではの文化芸術を次代に継承していきます。また、個々の文化芸術活動だけでなく、文化芸術施策も充実したものになるよう、文化芸術分野に限らず交流・連携等を行い、多様な視点で文化芸術と市内外の人、団体、事業等をつないでいきます。



計画を推進するために

●市の責務

文化芸術活動の主体は「市民」です。従って、本市は市民の主体性・自主性を十分に尊重しながら、文化芸術施策を推進していきます。また、施策の推進にあたっては、市民、文化芸術団体、芸術家、文化施設、その他文化芸術と関連のある分野の機関等も含めて連携・協力しながら推進していきます。

●本計画における「ミリカローデン那珂川」の役割

ミリカローデン那珂川は、本市の文化芸術振興の拠点として、次のような方向性で事業運営を行っています。

▶基本となる事業運営

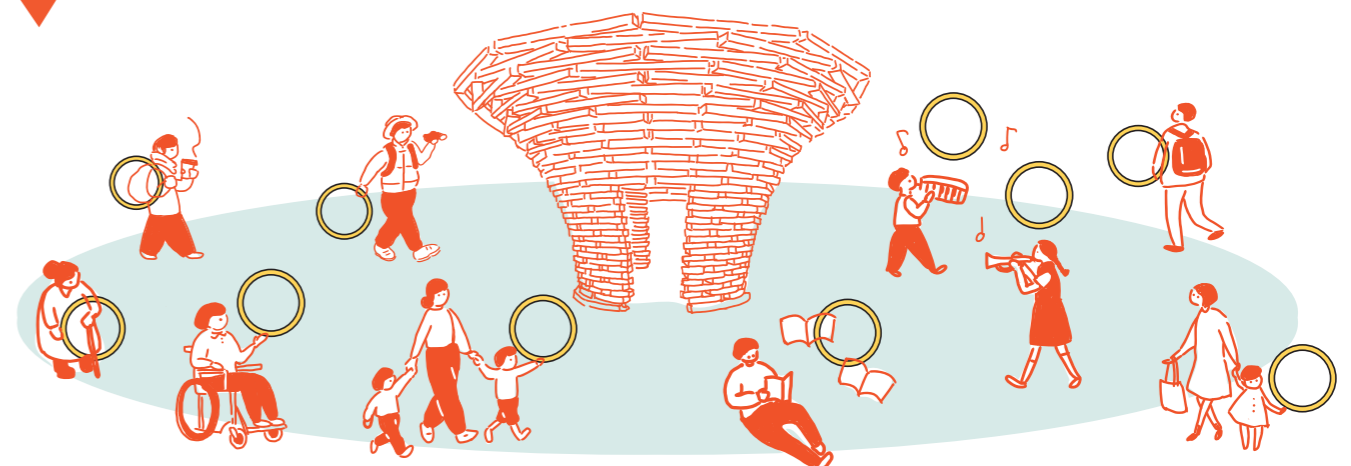
- ・文化芸術事業だけでなく、生涯学習事業、図書館事業を行う複合文化施設としての特徴を活かし、それぞれの事業の融合による、更なる文化芸術の可能性を追求する
- ・本市の文化芸術に対する市民の関心を高め、その価値を伝え次代に継承していく
- ・文化芸術を通じて、世代を越えた交流をつくる
- ・文化芸術の視点で、ミリカローデン那珂川を拠点に様々な企画を立案・実践する人材の育成に取り組む

▶ミリカローデン那珂川リニューアル事業のコンセプト(第2章P7「PICK UP」参照)を踏まえて

- ・文化芸術を通じて、多様な背景を持つ市民が仲間を見つけ、色々なアイデアを出し合い、ミリカローデン那珂川の中だけでなく地域に出て活動する等、出会いと活動の連鎖により、一人一人が尊重される場が生まれる仕組みをつくる
- ・リニューアルにより、若い世代の来館が増えていることから、若い世代の自由なアイデアを事業にも活用することで、若い世代が文化芸術に触れることができる機会を広げる
- ・施設の持つ可能性を最大限に発揮し、多様な文化芸術の在り方を追求し、利用者や市民へ提案することで、本市における文化芸術活動の充実・発展に取り組む

▶▶▶さらに本計画を踏まえて

本計画で示す市全体の文化芸術推進の動きを見据えて事業運営をしていき、文化芸術振興拠点としての役割をさらに充実させていきます。文化芸術に触れる機会の充実や文化芸術活動を通して交流ができる場所、文化芸術を身近に感じてもらえる場所となることを目指します。



ミリカローデン那珂川の事業運営の方向性